

## 地図を活用しながら、市町村合併の現状を探る！

広島市立船越中学校 小早川圭介

1999年の地方分権一括法の成立により、地方自治が抱える多くの課題を克服しようとしているが、その地方分権を推進する一つの手段として、市町村合併への動きが加速している。合併自体が地方自治に是となるか否かとなるかは、長い年月を経ないと結論はでないことではあるが、自分が住む市町村の現状に真摯に目を向け、合併をふくめ、その将来について真剣に考えることが大切である。そこで広島県呉市周辺の市町村合併の多面的・多角的な分析により、今後どのような地域づくりを進めるべきかを考えさせるきっかけとした。

①合併によってどのようなメリット・デメリットがあるかを、帝国書院『中学生の公民(初訂版)』(以下、教科書) p.118の本文などをヒントに考えさせてみる。

メリット = 行財政の効率化

デメリット = 行財政の地域格差

②教科書p.118上図の地図から市町村の合併が多い都道府県はどこかをみつけさせる。

③その一つである広島県の市町村合併状況は市13・町67・村6 合計86(平成14年4月)から市14・町9・村0 合計23(平成18年3月)と、市町村の数が大きく減少した。

その新しい市町である次のa～cから合併のねらいを考えてみる。

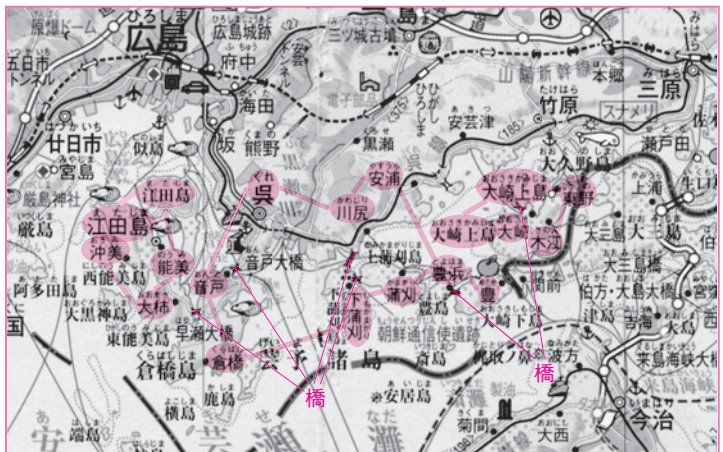
a. 呉市 b. 大崎上島町 c. 江田島市

I. a～cの市町の位置を地図帳のp.79～80から調べる。

II. 資料「県内合併市町村の人口・面積」(広島県HPより)から合併した旧市町村を地図帳で探しだし、合併した新しい市町の範囲を確認する。各市町の合併の特色がア・イのいずれか分析させてみる。

ア. 主要都市とその周辺の町村が合併してできた市町村

イ. ほぼ同じ規模の市町村が合併してできた市町村



帝国書院『中学校社会科地図(初訂版)』p.79～80

III. 呉市の南部にある島々(西・東能美島、倉橋島、下蒲刈島～大崎上島)に注目し、倉橋島、上・下蒲刈島、大崎下島は呉市に合併したが、b・cの市町は呉市と合併しなかった。その決断を分けたのは何かを島島の地理的環境(地図帳より)、前記の資料、①による合併のメリット・デメリットから予想させてみる。

④身近にある市町村を一つ選び、さまざまな視点から調査し、合併もしくは合併しなかったねらいを分析し、さらにその市町村の今後の地域づくりも考えさせてみる。